

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立男女共同参画センター	
(2) 施設の設置目的	
男女共同参画の推進に関する施策を実施し、及び市民等による男女共同参画の推進に関する取組を支援するため。	
(3) 所管部局	
市民人権局 ダイバーシティ推進部 ダイバーシティ企画課	
(4) 指定管理者名	
コクリコさかい運営共同事業体 (株式会社セルボ彩、株式会社大阪建物管理、有限会社南海ステージ)	
(5) 指定期間	
令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">男女共同参画の推進に関する業務 講座等企画運営、センター開設記念事業や男女共同参画週間事業の実施等相談事業に関する業務 女性差別問題、生活問題、健康医療等の相談について、電話・面接・SNS・メールにより実施。内容により、弁護士等専門家が相談に対応施設維持管理業務 利用者が安全・安心に利用できるよう、適正に施設を維持管理	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)、クレオ大阪	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	<p>・貸館業務の実施にあたっては、平等利用を心掛け、管理運営規程に基づき適正に行った。施設予約システムの運用に関しては、堺市施設予約システムの利用に関する仕様書を遵守し運用を行った。</p> <p>・急病、火災、災害等の非常事態の対応については、様々な事態に遅滞なく適切な措置を講じられるように、「緊急時対策マニュアル」を備え、安全の確保に万全を尽くしている。</p> <p>・個人情報保護法の趣旨を踏まえ、全ての利用者から知り得た団体・個人情報について、厳重な管理体制のもとに取り扱った。</p>
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	<p>・講座等企画運営業務、企画総務業務、センター管理業務に分担し、それぞれ機能的に業務を行えるように適切に人員を配置している。それぞれの職員に対して、業務に必要な研修はもとより、人権、個人情報、情報セキュリティなど全職員が同じ意識を持つよう研修を実施した。</p> <p>・施設の維持管理については、施設自体が老朽化し故障箇所が増加傾向にあるものの、不具合等の早期発見により即時修繕に取り組む等施設の維持管理を適切に行った。</p>
施設の設置目的に沿った事業の実施	<p>男女共同参画に関する情報発信を行い、意識改革を推進することはもちろん、多様な年代、立場の人が社会の課題を男女共同参画の視点で解決していくための知識を得、人材ネットワークの拠点として地域の担い手につながり、さらにリーダーシップを発揮していくための活動の場を提供した。講座では、ZOOMでの受講や録画配信を実施する等、利用者がより参加しやすい環境を提供した。</p>
その他特筆すべき取組	<p>ベアテ・シロタ・ゴードン生誕100周年を記念して、国立女性教育会館(NWEC)理事長萩原なつ子さんによる講演会「2023年度 コクリコさかいのつどい ベアテ・シロタ・ゴードン生誕100周年記念“もはや昭和ではない”時代のジェンダー平等を考える」を実施した。ベアテ・シロタ・ゴードンさんの没後10年、当センター訪問から15年の記念の年に、憲法24条を通して、ジェンダー平等について考える機会を提供した。</p>

イ 市による状況分析

一部の業務について、事業の変更等があったが、年度事業計画書に基づき、施設の維持管理、施設の設置目的に沿った事業等を適切に行った。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	—	—	—	コクリコさかい運営共同事業体	コクリコさかい運営共同事業体
利用者数(単位:人)	—	—	—	62,600	—
稼働率(単位:%)	—	—	—	54.1	—
利用者満足度(単位:%)	—	—	—	97.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	<p>・貸館に空きがある場合、様々な施設利用を提案したことによって利用者の増加、利用料金の増収につなげることができた。</p> <p>・男女共同参画を推進する啓発講座の「ひきこもりサポーター養成講座」で学んだ人が、より深く学びを実践する場として「ひきこもりあるあるみんなの会 in堺」を自主事業として実施するなど施設に、より多くの人が集い、学ぶことができる場所を提供した。また、「コクリコMy Study」、「自習室」、「交流の広場」の実施により、子どもたちの居場所を提供し、コミュニケーションの輪を広げ、社会とのつながりを作るきっかけづくりを行った。</p>
意見・苦情・要望等への対応	<p>利用者満足度を測るためCS調査を実施し、自由記述として要望を受け付けた。すぐにできることはただちに実行し、様々なご要望については、今後の貴重な参考事項として、実現可能なものから取り組む。</p>
その他特筆すべき取組	<p>2023年12月に平和の願いを込めたプロジェクトマップを実施し、さらにロビーコンサートと同時に実施することにより多くの市民に対してセンターをPRすることができた。ロビーコンサートでは、講座受講者の発表の場の提供や講師の出演により新規の受講生獲得につなげた。</p>

ウ 市による状況分析

プロジェクトマップやロビーコンサート等の自主事業を行い、新規利用者の増加だけでなく、施設利用者に対するサービス向上を図るための取組を行った。また、利用者の要望については真摯に受け止め、適切に対応した。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
指定管理者名		—	—	—	コクリコさかい運営共同事業体	コクリコさかい運営共同事業体
収入	指定管理料	—	—	—	81,840,000	81,840,000
	利用料金	—	—	—	192,700	140,000
	負担金	—	—	—	22,566,200	18,000,000
	その他	—	—	—	1,487	0
合 計		—	—	—	104,600,387	99,980,000
支出	人件費	—	—	—	56,065,854	56,227,000
	委託料	—	—	—	3,364,692	3,437,000
	総支出額に占める委託料の割合	—	—	—	3.3%	3.4%
	修繕費	—	—	—	553,036	1,100,000
	光熱水費	—	—	—	2,749,276	4,335,000
	その他	—	—	—	37,906,954	34,881,000
合 計		—	—	—	100,639,812	99,980,000
収支差額		—	—	—	3,960,575	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収 入		—	—	—	1,024,282	3,157,000
支 出		—	—	—	2,850,239	2,832,000
収支差額		—	—	—	-1,825,957	325,000
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	<ul style="list-style-type: none"> 過去直営時の使用料に比べ、令和5年度は新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したため、利用料金収入が増加したと考える。 人件費について、スタッフを日々の講座数に合わせた勤務体制にする等の削減を図っている。 施設の修繕箇所の早期発見を行い、即時修繕に取り組む等最小の経費で機能回復できるよう心掛け、修繕費を削減した。
-------------	---

ウ 市による状況分析

- ・広報や指定管理者ホームページ等で周知を行ったため、利用料金収入が当初計画比で約38%増加となった。
- ・当初の計画より収入の増加があり、また人件費等の経費削減を行うことで、収支差額が黒字となった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
事業開催件数 男女共同参画の推進に関する講座	年間実施回数 1,000回以上	1,446回

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者の満足度	満足度割合85%以上	97.0%
利用者数	年間利用者数6万人以上	62,600人
施設稼働率	年間稼働率50%以上	54.1%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	年間120,000円以上	192,700円
受講料収入	年間5,500,000円以上	22,566,200円

イ 市による状況分析

全ての項目において、目標を達成することができた。事業の開催件数について、委託事業として行っていた講座等企画運営業務のノウハウ等を活かし、利用者のニーズに沿った講座を多く実施した結果、満足度、受講料収入等も目標を大幅に上回ったと考える。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	ほぼすべての項目について目標値を上回り、男女共同参画を推進する講座においても、ZOOM開催や録画配信を行い、延べ10,000人以上の方にご参加いただいた。地域コミュニティの活性化、センター利用者の拡大、知名度向上に取り組んだことで、利用者、受講者が増加し、センターの設立趣旨の理解につながった。	一部事務の遅れ等があったため、再発防止に努める必要があるが、指定管理1期目に関わらず、全ての項目について、指定管理者の持つノウハウを活かし、利用者のニーズに沿った事業の実施等により目標値を達成することができた。
今後の取組	センターに馴染みのない子育て世代や若い世代を対象にした講座の実施や、祝日も開館することにより、さらなる利用者の増加を図る。事業実施にあたっては当初の計画から実施時期や内容を変更する場合においても、利用者にとって、より魅力的な事業の企画・実施を図る。	引き続き、施設の適正な管理運営に努め、新規の利用者の獲得や施設の稼働率向上に資する取組を期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの